

～災害時のリダンダンシー機能や日常利用において地域住民・特に高校生や高齢者に必要不可欠なJR加古川線が、地域にとって必要な交通手段であり続けるために～

☆ 趣旨 地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない路線を維持するため、実情・課題を踏まえ、駅周辺の活性化や観光と連携した利用促進策等を官民連携で検討

## 基本方針

【背景】・沿線地域の人口の減少、少子高齢化の推進  
 ・道路網を優先した交通網の整備  
 ・サービスの低下（輸送密度の低下に伴う列車本数の減）  
 ・コロナ禍による課題の顕在化

I 地域公共交通サービスの維持促進

II まちづくり・観光振興等と連携した地域戦略

III 地域住民等関係者との連携による活性化

## 取組みの方向性

### 日常利用の促進

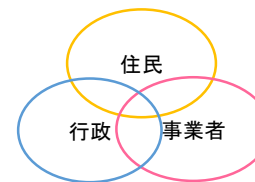
- ・鉄道施設の効率的・効果的な活用、利用者のサービス向上による新たな価値の創出
- ・2次交通との連携、情報発信等による利用意識の醸成

### 観光需要の増進

- ・観光資源へのアクセス強化、ICTを活用したサービスの提供
- ・ARイベントや地域イベント等による利用のきっかけ創出

### まちづくりと一体となった魅力創出

- ・地域住民との連携による駅周辺の活性化、周辺土地の有効活用
- ・モビリティ・マネジメントの実施、地域活動家との連携



## 各団体における取組み

	日常利用の促進		観光需要の増進		まちづくりと一体となった魅力創出	
	取組概要	期待される効果	取組概要	期待される効果	取組概要	期待される効果
行政	列車利用サービスの充実 (通学自転車の同乗サービス、ICカード精算)	利用者の利便性向上	利用促進イベントの開催 (ARスタンプラリー、イベント列車)	沿線内外の集客増進	地域住民との協体制の整備 (まちづくり活動団体等のネットワーク化)	地域住民の連携強化
	助成制度の創出(定期購入補助)	利用者の負担軽減	観光客受入体制の強化 (イベント参加者への運賃割引)	利用者の利便性向上	地域と鉄道の連携促進 (幼児落書きコーナー設置)	地域住民の連携強化
事業者	列車利用サービスの充実 (通学自転車の同乗サービス)	利用者の利便性向上	観光コンテンツの強化 (体験コンテンツの発掘とPR)	沿線内外の集客増進	駅周辺の活性化 (文化的なパブリックスペースの創出)	地域のにぎわい創出
	地域と駅を結ぶ二次交通の強化 (ループバス、デマンド交通など)	住民利用者の増加	観光客受入体制の強化 (案内放送強化)	利用者の利便性向上	駅周辺の土地を活用したイベント (グランドゴルフ大会の誘致)	地域のにぎわい創出
	駅・周辺の整備(駐車場、駐輪場、トイレ、待合スペース)	駅・周辺の利便性向上	利用促進イベントの開催 (駅を起点とした散策コースの設定)	沿線内外の集客増進	駅周辺の活性化 (コミュニティスペースの設置)	地域のにぎわい創出
住民	鉄道利用週間の設定	住民利用者の増加	観光コンテンツの強化 (古民家を活用したインバウンド誘致)	沿線内外の集客増進	駅周辺の土地を活用したイベント (朝市、バザールの実施)	地域のにぎわい創出
	駅・周辺の整備(清掃、装飾)	駅・周辺の利便性向上	観光客受入体制の強化 (給水設備の整理・トイレマップ作成)	利用者の利便性向上	地域住民との協体制の整備 (サポーターの立ち上げ)	地域住民の連携強化